

新基地建設反対名護共同センターニュース

うるま市を戦場にすな！

「ミサイル配備から命を守るうるま市民の会」発足



防衛省がすすめているうるま市の自衛隊勝連分屯地に地对艦ミサイル（SSM）部隊の配備計画を阻止しようと「ミサイル配備から命を守るうるま市民の会」が28日、発足しました。市内で開かれた集会には150人が参加、ミサイル配備阻止へ市民の連帯を広げる方針を確認しました。元琉球新報記者の新垣邦雄さんが講演（別項）しました。共同代表に選ばれた山内末子県議は「ひとり一人が戦争勃発の危機感を共有し、戦争反対の世論をつくり上げることだ」との宣言文を読み上げ、参加者全員でガンバロー三唱（写真）し氣勢を上げました。

新垣邦雄氏の話のポイント

- ◎攻撃基地はターゲットになる
 - ・うるま市、中部は米軍・自衛隊の重要拠点
 - ・陸自ミサイルだけでなく米軍トマホークも
 - ・嘉手納弾薬庫の自衛隊との共同使用、核やミサイルの保管庫に
- ◎ミサイルは外に出る ターゲットは市街地も
- ◎ホワイトビーチは国連軍基地ー朝鮮戦争が始まれば、無条件で米軍、NATOが出撃

戦争を止めるため、私たちは何をするか

- ◎事実を知る ミサイル写真展、出前講座など
- ◎行動する 市長知事、防衛局への申し入れ 市議会決議を要求、新聞への投稿
- ◎連帯する 仲間を増やす 若者・女性に広げる
- ◎あきらめない 明るく楽しく歌いながら

「憲法と平和を守るたたかひの正念場だ」

日本平和大会 名護共同センターでオンライン参加

名護平和委員会は11月26～27日に開かれた2022年日本平和大会へのオンライン参加を呼びかけ、名護共同センターなどで福地信昭会長など10人が参加しました。具志堅徹元県議は「ロシアによるウクライナ侵略を口実に沖縄諸島はじめ全国で日米共同訓練とミサイル基地など戦争する国づくりが急速に進められている実態が報告された。憲法と平和を守るたたかひの正念場だ。辺野古のたたかひと結び全国と連帯したたたかひを広げなければ」と話しました。



写真右は共同センターで平和大会を視聴する平和委員会会員ら。写真上は2日目のトークセッション



12・3 ゲート前 県民大行動にご参加を！



11月5日の大行動

日時 12月3日(土) 午前11時～正午(予定)
場所 キャンプ・シュワブゲート前
主催 オール沖縄会議
※各地島ぐるみ会議からバスが出ます。最寄りの地方議員などにお尋ねください。

大成功の「塩川デイ」参加者320名でダンプ進入を3分の1に

伊芸佑得さんを偲ぶ会

2020年6月15日、72歳で亡くなった、うるま市島ぐるみ会議事務局長の伊芸佑得さんを偲ぶ会が11月27日、うるま市内で開かれました。同島ぐるみ会議の役員や県議、市議、友人など87人が故人を偲びました。実行委員会発行の追悼集には故人を偲びつつ、遺志を継ぐ決意を20数人が手記に寄せました。

辺野古ゲート前で座り込む伊芸さん(左端=2018年3月10日)



「塩川デイ」では、朝7時から午後5時まで、パネルやのぼりを掲げて土砂を積んだダンプカーの前で粘り強く牛歩を繰り返しました。

本部町島ぐるみ会議が呼びかけた「塩川デイ」(11月21、22日)には、塩川港での抗議に地元住民の他にも県中南部や県外から支援者が2日間で320人が参加、牛歩戦術を早朝から夕方まで続けました。
今後もあきらめずにたたかう
同会議の原田みき子さんは「通常10人にも満たない抗議行動で1日に600台、650台のダンプカーが通過しますが、2日間で約430台のダンプカーの通過にとどめることができました。これは通常であれば2日間で約1300台もの進入していることと比べ3分の1です。抗議する人が多く集まれば新基地建設を大幅に遅らせることができると確信できました。たくさんのご支援に感謝します。今後もあきらめることなく抗議を続けます。」と話しました。